



## 作品の説明

高校生時代、敦賀市で地方創生や、その他地域活動を意欲的にしていたからこそ見えた「敦賀の良いところ」がありました。「敦賀市ってどんなところ？」と聞かれるとほとんどの人が、どのように返事しようかと悩み、悩んだ末に「なにもない」と返事してしまいがちだと思います。今、敦賀市に更なる飛躍のチャンスが訪れるからこそ、わかりやすい魅力をさらに磨き上げ、また「双眼鏡」を使わないと見えてこないような、実はすごい魅力まで市内の人も含めて「発見」していくことが必要だと思います。実際に敦賀市を訪れることで「発見」し、さらに「双眼鏡」を覗くような凝縮された体験をしてもらうことで多くの人にその隠れた魅力までを発見してほしいという想いを、親しみやすく、かわいいロゴマークに込めました。

案A



## 作品の説明

キャッチコピーの「つるが、発見！」の発見という言葉から、マークの外わくを、誰にでもわかるルーペにしました。また、北陸新幹線敦賀開業イベント等に使用するというので、北陸新幹線のイラストを、キャッチコピーと同等の大きさにしています。

「つるが」を表すシンボルとしては、漁港・魚(グルメ)・鳥居(文化・歴史)を使いました。

# 案B



## 作品の説明

“敦賀の「等身大の魅力」を見つけてほしい”という思いが込められた「つるが、発見！」というキャッチコピーを広く発信していくためのロゴマークということで、「見るたびに新たな発見がある敦賀」を表したデザインを製作いたしました。

このロゴマークには複数の見方があります。

- ・「敦賀の魅力を覗く虫眼鏡」により、敦賀の魅力を発見する様子が表現されている
- ・よく見るとデザインの要素が「つるが、発見」の文字になっている
- ・大きな「つ」の形が敦賀湾の地形を表している
- ・豊かな海の恵みを楽しむ敦賀を表した青色と、そこに新たに走る新幹線の色

上記のような「様々な奥深い魅力を発信してほしい」という思いを込めております。

北陸新幹線敦賀開業PRに使用され、より多くの人々が敦賀の魅力を発信しに訪れたいくなるロゴになれば嬉しく思います。

案C



## 作品の説明

松の茂みからのぞき見える敦賀市をイメージし、地形的な特徴である山と海(港)を背景に、鯛やフグなどの特産品をはじめ、赤レンガ倉庫や神社などの観光スポットなどのイラストを多く盛り込んだマークになっており、シンプルに敦賀市の特色をアピールしています。文字はオリジナルで作ったものですが、一般的な文字とは違って目を引くことができると思います。

# 案D



## 作品の説明

つるが、発見！を象徴的に見せるため、望遠鏡をモチーフにそこから敦賀の特産品や名所が見えるという構図のロゴに。

澄んだ青色をベースカラーにすることで、美しい港町敦賀を表現しています。

「発見」の「見」をキャラクター化することで、「つるが、発見！」のコピー単体でも愛されやすく今後の広告の展開でもキャラがいることで楽しくなるよう考えました。

案E



## 作品の説明

双眼鏡が敦賀市の上空から、「なにかいいこと」をワクワクしながら探しています。視線の先には、敦賀の「いいところ」がいろいろ(交通の拠点、自然、名所、グルメなど)。

発見は驚きや喜びがあって楽しい！

そんな気持ちを喚起できるように双眼鏡の表情に託しました。

デザイントーンは福井県の「地味にすごい、福井」との相乗効果を踏まえ、アイコン表現等一部合わせています。

案F